

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <http://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営本部長 (氏名) 柴田 亨 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	47,249	34.4	767	70.8	754	92.3	435	145.3
30年3月期第1四半期	35,150	7.3	449	194.1	392	309.2	177	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 258百万円(△71.3%) 30年3月期第1四半期 899百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	19.97	19.53
30年3月期第1四半期	8.18	7.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	70,548	36,412	50.9
30年3月期	75,281	36,698	48.0

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 35,893百万円 30年3月期 36,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	17.9	1,600	△9.2	1,500	△8.6	1,000	△4.3	45.97
通期	230,000	16.4	5,000	4.0	4,800	2.1	3,200	△20.6	147.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期1Q	24,050,000株	30年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	2,228,050株	30年3月期	2,273,050株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期1Q	21,805,612株	30年3月期1Q	21,690,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成30年8月9日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、ビデオゲーム市場は一部ヒット商品の牽引により好調に推移しているものの、玩具市場は消費者ニーズの多様化、映像音楽市場は配信サービスの普及など視聴方法の多様化により、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましては、映像音楽事業で平成30年3月1日を効力発生日として株式会社星光堂の音楽映像パッケージの卸売に関して有する権利義務の一部を会社分割により承継したことや、ビデオゲーム事業が前期に引き続き好調に推移したことなどにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は472億4千9百万円(前年同期比34.4%増)、営業利益は7億6千7百万円(同70.8%増)、経常利益は7億5千4百万円(同92.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億3千5百万円(同145.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業につきましては、バンダイの「HUGっと!プリキュア」や、ハイターゲット向け商材を取扱うBANDAI SPIRITSの「一番くじ」関連商品が好調に推移したものの、玩具事業全体としては低調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

この結果、売上高は130億3千7百万円(前年同期比3.1%減)、セグメント利益は2億5千4百万円(同15.1%減)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、パッケージ市場は厳しい環境で推移しておりますが、平成30年3月1日を効力発生日として株式会社星光堂の音楽映像パッケージの卸売に関して有する権利義務の一部を会社分割により承継し、中間流通市場シェアを拡大したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は202億9千2百万円(前年同期比155.4%増)、セグメント利益は3億5千5百万円(同297.4%増)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、「Nintendo Switch」のハード及びソフトが引き続き好調に推移したことや、当社独占流通のソフトが好調だったことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は93億8千9百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は1億2百万円(同67.4%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、イベント販売を積極的に実施したことや、優良ロケーションでの販売を強化したことによりカプセル玩具が順調に推移し、売上高は前年同期とほぼ横ばいとなりました。利益面においては、オペレーションの効率化を図ったことにより前年同期を上回りました。

この結果、売上高は45億2千9百万円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益は3億6千2百万円(同18.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ47億3千3百万円減少し、705億4千8百万円となりました。これは主に、流動資産の減少41億7千4百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ44億4千7百万円減少し、341億3千5百万円となりました。これは主に、流動負債の減少44億4千1百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億8千6百万円減少し、364億1千2百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少1億8百万円及びその他有価証券評価差額金の減少1億8千万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,458	16,684
受取手形及び売掛金	36,979	26,591
たな卸資産	8,028	9,075
その他	3,011	2,950
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	59,474	55,299
固定資産		
有形固定資産	758	758
無形固定資産		
のれん	658	624
その他	1,807	1,870
無形固定資産合計	2,465	2,495
投資その他の資産		
投資有価証券	8,323	8,024
その他	4,263	3,973
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	12,583	11,995
固定資産合計	15,807	15,248
資産合計	75,281	70,548
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,785	25,383
未払法人税等	1,476	166
賞与引当金	505	324
役員賞与引当金	75	—
その他の引当金	60	68
その他	4,451	3,970
流動負債合計	34,354	29,913
固定負債		
退職給付に係る負債	2,993	3,023
その他	1,235	1,198
固定負債合計	4,228	4,222
負債合計	38,583	34,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,795	2,890
利益剰余金	30,325	30,216
自己株式	△1,917	△1,966
株主資本合計	33,954	33,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,181	2,000
繰延ヘッジ損益	△2	1
その他の包括利益累計額合計	2,179	2,001
新株予約権	564	518
純資産合計	36,698	36,412
負債純資産合計	75,281	70,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	35,150	47,249
売上原価	30,567	41,815
売上総利益	4,582	5,433
販売費及び一般管理費	4,133	4,666
営業利益	449	767
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	46	60
その他	12	11
営業外収益合計	59	71
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	115	83
その他	0	0
営業外費用合計	115	84
経常利益	392	754
特別利益		
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	392	754
法人税、住民税及び事業税	74	147
法人税等調整額	140	171
法人税等合計	214	318
四半期純利益	177	435
親会社株主に帰属する四半期純利益	177	435

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	177	435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	721	△180
繰延ヘッジ損益	△0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	721	△177
四半期包括利益	899	258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	899	258
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,450	7,944	9,263	4,492	35,150	—	35,150
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,450	7,944	9,263	4,492	35,150	—	35,150
セグメント利益	300	89	61	305	755	△306	449

(注) 1. セグメント利益の調整額△306百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,037	20,292	9,389	4,529	47,249	—	47,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,037	20,292	9,389	4,529	47,249	—	47,249
セグメント利益	254	355	102	362	1,075	△307	767

(注) 1. セグメント利益の調整額△307百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△307百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。